

全国高校総体の中止を受け、コザ高の部活動生が「**虚無みたいな状態**」と表現していた（琉球新報 4/28）。この生徒は、授業で学んだ言葉を自分のもののように思える。

「ニヒル」とは「無」「虚無」を意味する。どのような価値も信じることなく、いっさいのものは無意味であるとする考え方を「**ニヒリズム**」という。

今回は、ニヒリズムについて思索を深めた**ニーチェ**を取り上げる。25歳で大学教授となるが、生存中は世間に認められず、不遇の中で狂気の人となったが、彼の言葉は現代を生きる我々の心をも驚嘆にさせる。彼については、「倫理」（1年）で学ぶ。



（以下、『超訳 ニーチェの言葉』より） F.W.Nietzsche

「**絶えず進んでいく**」

どんな将来を目指しているのか。  
 今を越えて、どこまで高く行こうとするのか。  
 どの道を切り拓き、何を創造していこうとするのか。  
 過去にしがみついたり、下にいる人間と見比べて自分をほめたりするな。  
 夢を楽しそうに語るだけで何もしなかったり、  
 そこそこの現状に満足してとどまったりするな。  
**絶えず進め。      より遠くへ。      より高みを目指せ。**

「**自分を見つけない人に**」

自分がどういうものであるか理解したい人は、  
 次のような問いを自分に向け、真摯に答えてみればいい。  
 これまで自分が**真実に愛したものは、何であったか？**  
**自分の魂**を高みに上げたものが、何であったか？  
 何が自分の心を満たし、喜ばせたか？  
 これまでにどういうものに、自分は**夢中**になったか？  
 これらの問いに答えた時、自分の**本質**が明らかになるだろう。  
**それが、あなた自身だ。**

ニーチェは力強く成長する主体的人間像を超人と呼び、**超人**はニヒリズムの無意味さに耐え、**受動的なニヒリズム**を乗り越え、現実のただ中でみずから真に価値あるもの、意味のあるものを求め、積極的に人生を生きようとする**能動的ニヒリズム**を提唱した。

全国高校総体中止を受け、これまで目標としたものが見失われた時、我々はニヒリズムに陥りかねない。冒頭の生徒は、受動的ニヒリズムでとどまるのか。それとも能動的ニヒリズムに向かうのか？ それは、**本校生徒にも突きつけられた問い**でもある。

宜野湾高等学校長 津留一郎